

カリキュラム

機構施設名： 奈良職業能力開発促進センター

実施機関名： (株)ペック協会

A.生産管理		ものづくりの仕事のしくみと生産性向上		
生産・開発計画				
コースのねらい		製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。		
講義 内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ・日本経済の動向、地元と他地域との年収の比較。 ・同じ環境でも工夫の違いで年収も変わる。 (2) 企業経営とは ・挑戦することで成長ができる。失敗を恐れてはいけないワケ。 ・工場の資金投入から回収までのお金の流れを理解する。 (3) 製造業全体のしくみ ・クイズで学ぶ「モノづくり現場の一般常識」(工場で使う道具や用語をクイズ形式で学びます) グループワーク (4) 製造業における各部門の役割 ・お客様からの注文に対し、いかに対応すればよいか。各部署の流れを考える グループ討議 を行います。	2.0
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業のQCD・SM ・現場に配属になったときに必要な、挨拶やメモを取るといった上司の求める新人の基本について (グループワーク) (2) 生産管理のしくみ 一般的な生産計画がムダを生むのはなぜか ①ムリ・ムダ・ムラを理解する。 ②平準化生産のメリットとデメリットを知る。 ③売れに合わせたものづくりとはどういうことかを理解する。	1.0
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 改善活動の基本 ・トヨタ生産方式は、「傍(はた)を楽にする」 ・カイゼンは誰のために行うのか？ (2) 問題発見・解決 【演習あり】 ・ボールペン組み立て職場のカイゼン演習 グループワーク (3) 改善と気づき ・カイゼン効果を金額換算してみよう。	3.0
合計時間				6 時間

カリキュラム作成のポイント

- ・新入社員向けのため、専門用語は極力使わないよう心がけています。
- ・部署間の連携が重要なことを理解していただきます。
- ・新入社員がはじめの一歩で躓かないよう、あいさつの重要性についてもお伝えします。